

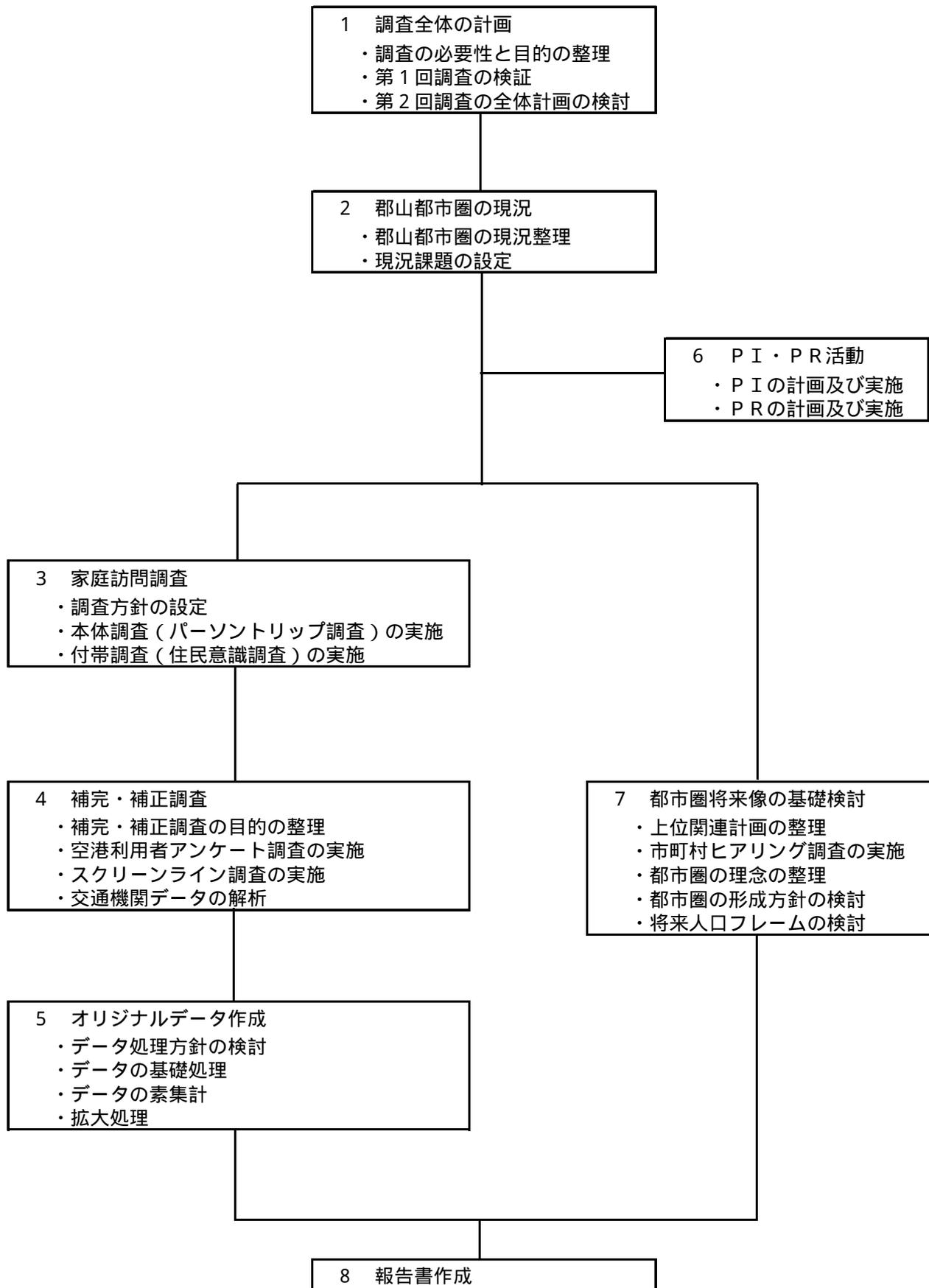
1 調査目的

郡山都市圏総合都市交通体系調査については、昭和61年度から昭和63年度までの3か年で行ったパーソントリップ調査及び総合都市交通体系調査（以下「第1回調査」）により、「外郭環状8放射構想」としてとりまとめられている。

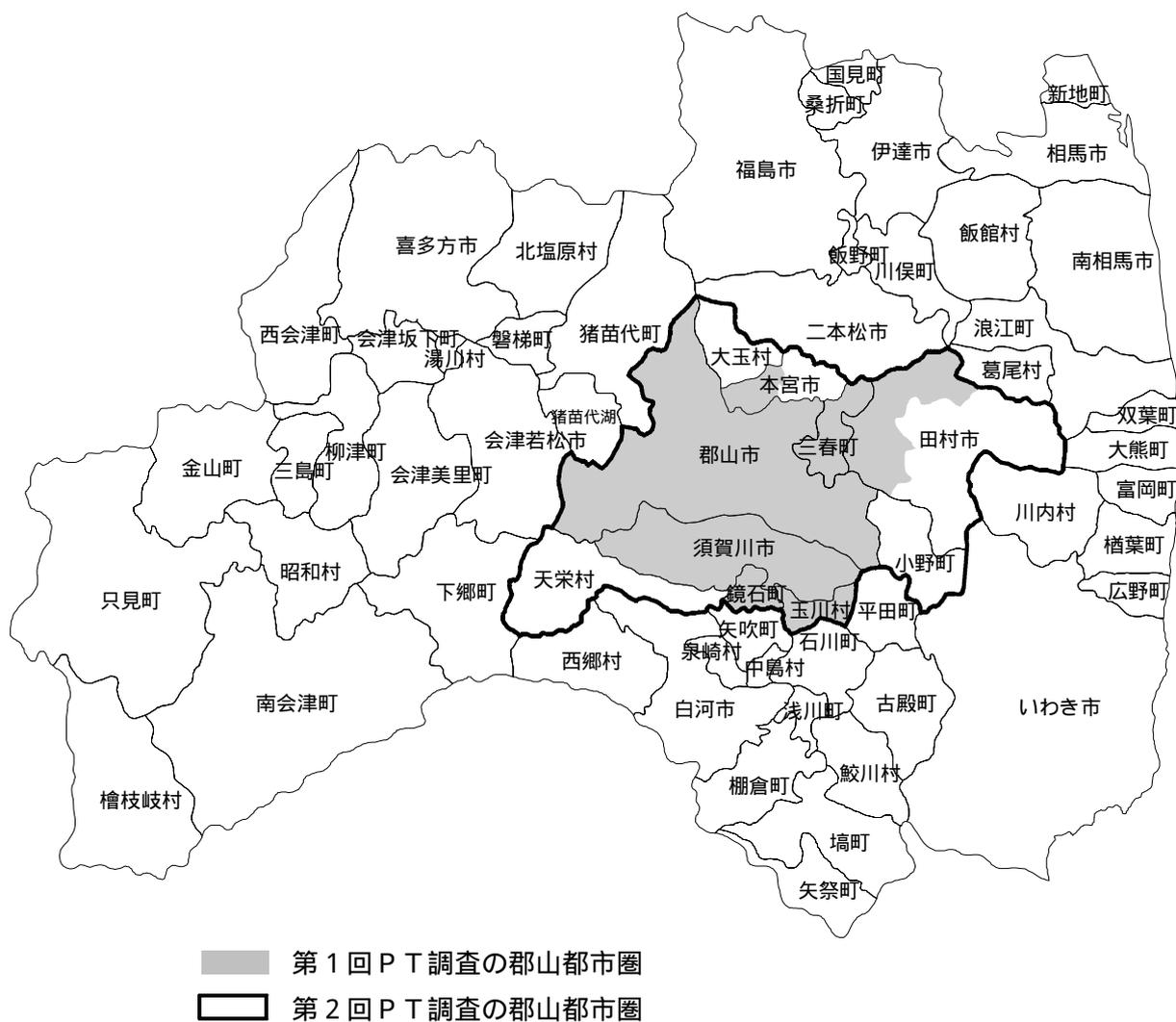
しかし、その後15年以上を経過し、少子高齢化の進行、経済の長期低迷、環境問題の深刻化など社会経済情勢が変化する中で、郡山都市圏においては大型小売店舗をはじめとした市街地の拡大などにより、都市構造の変化やそれに伴う交通流動が大きく変化しているため、上記の都市交通計画の検証や見直しが必要となっている。

これらのことから、本業務は、郡山都市圏の都市交通計画の見直しとして、新たな総合都市交通マスタープランの策定及び交通戦略の作成と計画の実現化に向けて、実態調査を含めた現況の実態把握及び将来像の基礎検討等を行うものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図



圏域 10市町村（4市3町3村）
 （郡山市、須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、
 玉川村、三春町、小野町）

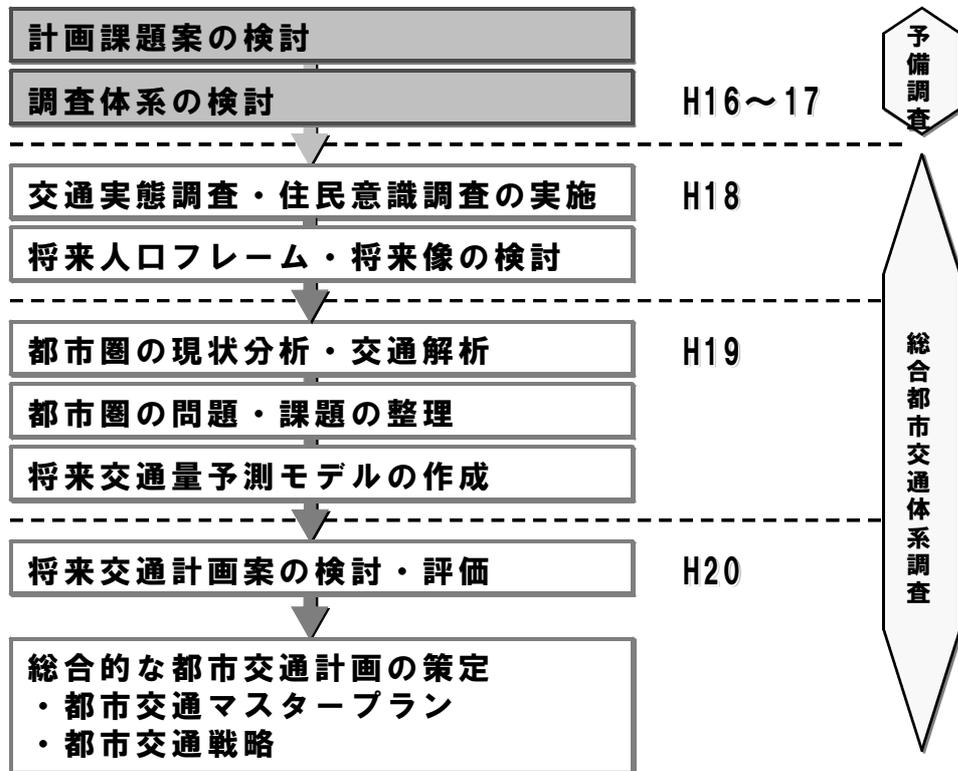
人口 約56万人

面積 2,163.55 km²

4 調査成果

4 - 1 調査全体の計画

(1) 第 2 回調査の全体計画



(2) 平成 1 8 年度のスケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福島県県中建設事務所 都市交通調査室開所		4/6											
実態調査	対象者抽出		対象者抽出・調査区割作成				募集・研修						
	調査員募集・研修												
	調査実施						実態調査10/10~						
データ処理	入力・チェック						コーディング・入力・チェック						
	集計・拡大								集計・拡大				
都市圏将来像検討							将来像検討・将来人口						
PR	WEB公開		広報誌		ホース		新聞・ラジオ・ニュースレター						
PI							モニター		モニター		モニター		
幹事会					7/28		9/20		11/22				
委員会					7/28							2/16	
準備会			5/30										

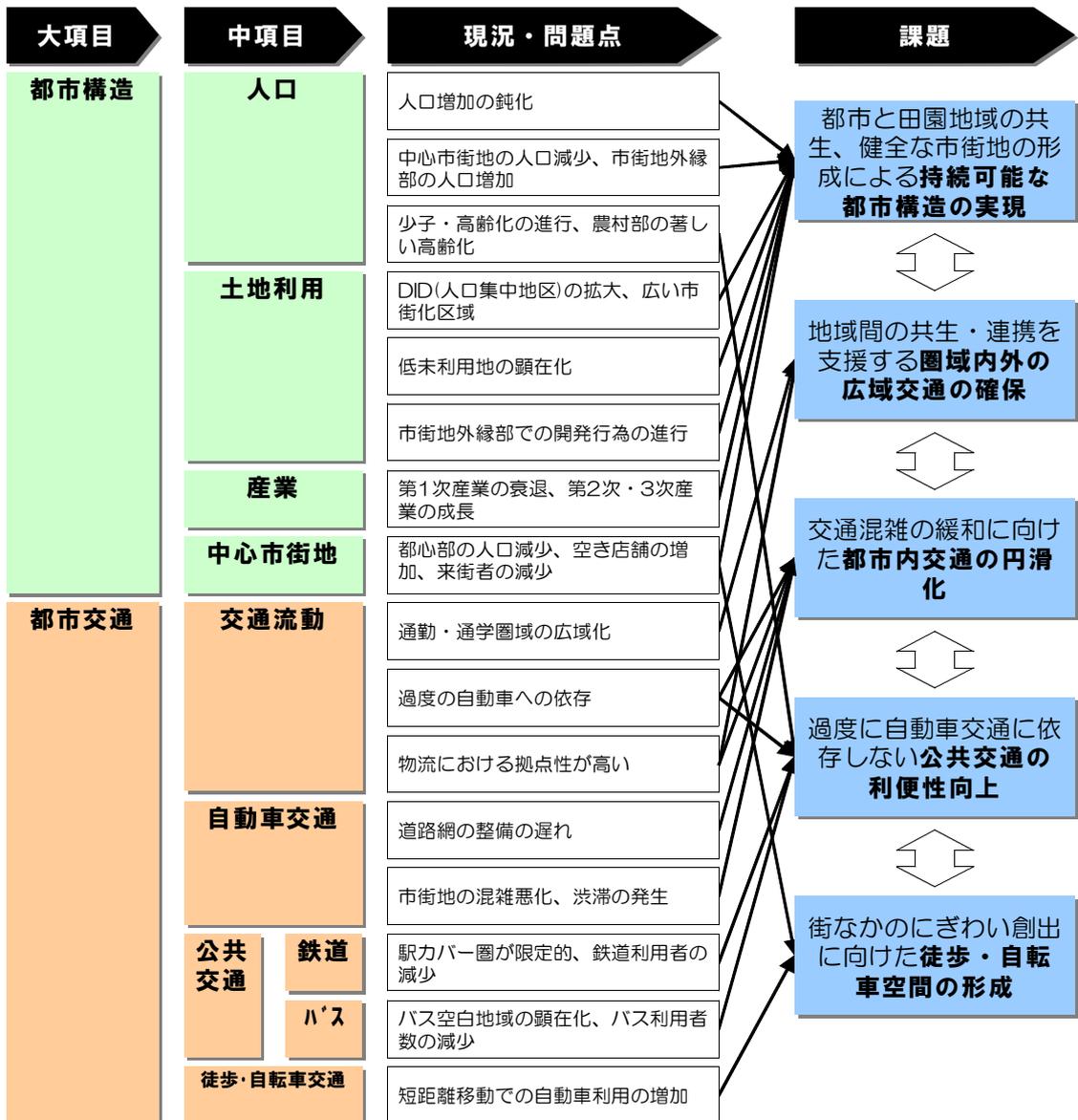
4 - 2 郡山都市圏の現況

(1) 郡山都市圏の現況

- ・人口増加の鈍化に反して土地利用が拡大したため低密度な土地利用が顕在化している。
- ・生活の移動距離が広域化し、過度に自動車に依存している。
- ・歩行者の減少と中心部のにぎわいが低下するとともに、渋滞悪化などが発生している。
- ・都市交通の問題は、人口や土地利用、自動車依存など複合的に要因が関連している。

(2) 現況課題の設定

都市構造、都市交通において、様々な問題が発生している一方で将来的にも人口・環境問題が懸念され、現況の問題や時代の趨勢をふまえると5つの現況課題が挙げられる。



4 - 3 家庭訪問調査

(1) 調査方針の設定

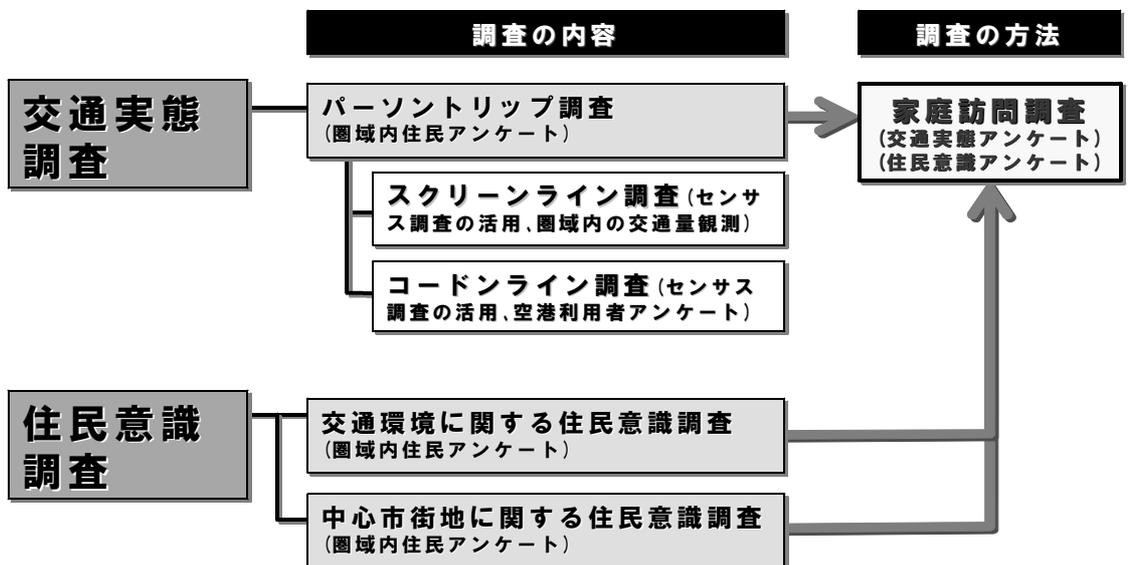
現況課題に対応した調査項目を設定し、都市圏域の様々な交通現象の実態を把握するとともに、住民の意識を把握することを目的とし、交通実態調査と住民意識調査を実施した。

課題に対応した調査項目

現況課題	把握したいこと	
	実態	意識
地域間の共生・連携を支援する圏域内外の広域交通の確保	圏域内外の人の動き	圏域内外の移動に対する意識
都市と農村地域の共生、機能的な市街地の形成による持続可能な都市構造の実現	居住地と勤務地の位置関係	居住環境に対する意識
交通混雑の緩和に向けた都市内交通の円滑化	圏域内の人の動き	圏域内の移動に対する意識
過度に自動車交通に依存しない公共交通の利便性向上	自動車利用者の動き	公共交通に対する意識
街なかのにぎわい創出に向けた徒歩・自転車空間の形成	街なかの人の動き	街中に対する意識



調査内容



(2) 回収状況

交通実態調査

回収結果は、都市圏全体において、目標回収数53,113票に対して有効回収数53,342票であり、必要サンプル数を確保した。

なお、市町村別の回収結果は、下表のとおりである。

市町村	有効回収 目標数	有効回収 数	達成率 (/)	事前案内 送付世帯数	有効回収 世帯数	回収率 (/)
郡山市	32,078	31,300	97.6%	18,062	12,020	66.5%
須賀川市	7,553	7,802	103.3%	3,318	2,704	81.5%
田村市	4,133	4,517	109.3%	1,477	1,349	91.3%
大玉村	799	866	108.4%	280	244	87.1%
本宮町	2,103	2,096	99.7%	1,077	707	65.6%
白沢村	872	935	107.2%	270	232	85.9%
鏡石町	1,204	1,295	107.6%	520	433	83.3%
天栄村	625	668	106.9%	189	178	94.2%
玉川村	723	786	108.7%	216	212	98.1%
三春町	1,866	1,883	100.9%	691	617	89.3%
小野町	1,157	1,194	103.2%	428	401	93.7%
郡山都市圏	53,113	53,342	100.4%	26,528	19,097	72.0%

住民意識調査

交通環境に関する意識調査（付帯調査A）は、目標回収数10,055票に対し有効回収数10,218票、中心市街地に関する意識調査（付帯調査B）は、目標回収数10,092票に対し有効回収数10,428票であり、ともに必要サンプル数を確保した。

なお、市町村別の回収結果は、下表のとおりである。

市町村	付帯調査A			付帯調査B		
	有効回収 目標数	有効回収 数	達成率 (/)	有効回収 目標数	有効回収 数	達成率 (/)
郡山市	6,107	5,959	97.6%	6,085	5,887	96.7%
須賀川市	1,444	1,523	105.5%	1,438	1,495	104.0%
田村市	781	920	117.8%	777	939	120.8%
大玉村	152	163	107.2%	152	182	119.7%
本宮町	399	444	111.3%	397	381	96.0%
白沢村	161	230	142.9%	161	198	123.0%
鏡石町	226	247	109.3%	225	269	119.6%
天栄村	118	113	95.8%	118	126	106.8%
玉川村	136	164	120.6%	136	155	114.0%
三春町	349	426	122.1%	348	354	101.7%
小野町	219	239	109.1%	218	232	106.4%
郡山都市圏	10,092	10,428	103.3%	10,055	10,218	101.6%

4 - 4 P I ・ P R 活動

総合都市交通計画策定の各段階において住民意向を適切に反映し、パーソントリップ調査及び都市交通マスタープランや交通戦略等の認知度や都市交通政策に関する住民意識の向上を図るとともに、計画策定プロセスの透明化や各施策の実現性・実効性の向上を図るため、P I ・ P R 活動を実施した。

(1) P I 活動

都市交通の課題の抽出や計画策定・施策検討の参考とするため、「交通まちづくりネットモニター」を実施し、都市交通問題への意識が高い住民層の意見を汲み取った。

モニター活動は、年3回実施し、第1回は交通問題の意識、第2回は渋滞問題、第3回は公共交通についてアンケートを実施した。

また、モニターのアンケート集計結果をP R サイトで公開した。

(2) P R 活動

P R 活動として、下記の広報媒体により実施した。

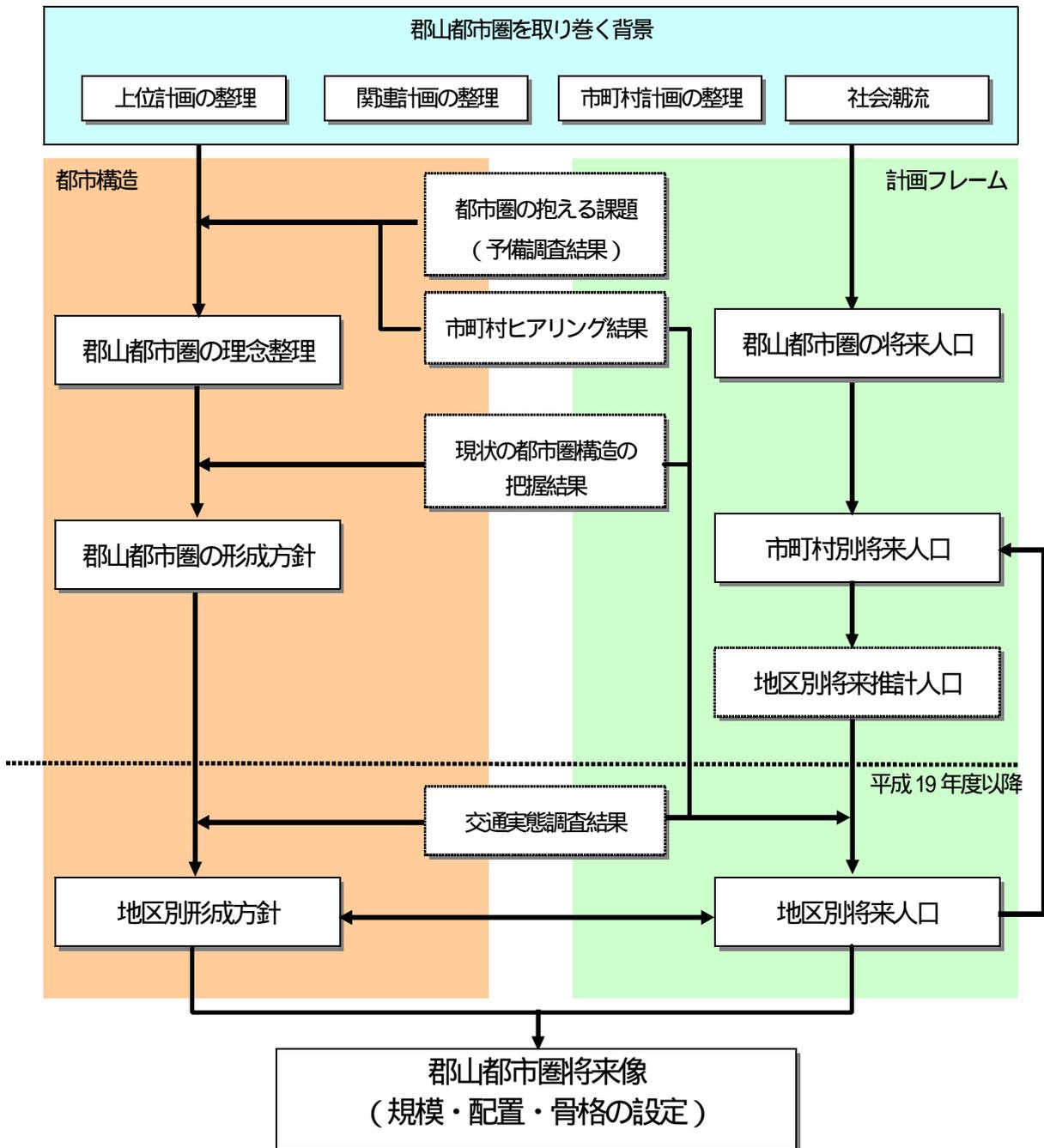
広報媒体	特性	ターゲット	目的	広報内容	部数
ポスター	掲示箇所によっては多くに人の目に触れる 視覚的に情報を伝える必要がある	不特定多数	・調査の知名度向上 ・調査実施の告知	・調査開始日 ・調査内容	・3,000枚
ニューズレター	継続的な発行によって、テーマを絞った情報を掲載できる	都市圏内住民全員	・調査の意義の広報 ・交通・まちづくり問題への意識啓発 ・協議会関連情報（結果報告）	・データによる都市圏の問題・課題 ・調査内容 ・協議会報告 ・モニター報告	・約190,000世帯 ×2回
チラシ	調査対象者に絞って調査内容と意義をわかりやすく伝えることができる	家庭訪問調査対象者 不特定多数	・調査の知名度向上 ・調査内容・手順の広報	・調査の意義 ・調査開始日 ・調査開始日、調査手順	・調査対象 約19,000世帯 ・配布5,000枚
新聞記事	新聞記事として取り上げられることで、社会的な重要性を認知してもらえる	新聞購読者	・調査実施の告知 ・協議会開催と決定事項の報道	・協議会開催と決定事項 ・調査開始と、調査概要	・県内紙計12回掲載
市町村広報誌	確実に全世帯へ配布される	都市圏内住民全員	・協議会委員の募集 ・調査実施の告知	・協議会委員、モニター募集 ・調査の概要と意義 ・調査開始と協力促進	・圏域内市町村 各2回掲載
Webサイト	新規の情報を伝えられる 印刷物に収まりきれない情報を提供できる 各種情報を体系的に整理できる	不特定多数	・調査実施告知 ・調査内容・手順告知 ・調査の意義アピール ・PI活動が促進 ・パーソントリップ調査に関する各種情報の窓口（リンク） ・協議会関連情報（開催告知、結果報告）	・協議会委員募集 ・交通まちづくりネットモニター募集・結果報告 ・協議会決定事項 ・都市圏の問題・課題	・2006年6月 より公開

4 - 5 都市圏将来像の基礎検討

(1) 都市圏将来像の検討内容

都市圏の望ましい将来像を検討し、将来の方向性、人口フレーム、都市構造等を検討する。

都市圏将来像検討フローを下図に示す。



(2) 都市圏理念の整理

予備調査における現況整理、また本検討での詳細な地域現況整理や、上位計画・関連計画等の整理に基づき、郡山都市圏における都市形成の理念を、以下の3点にまとめる。

豊かな自然と調和した都市や田園地域での暮らし・文化を持続できる 安全・安心な都市圏の形成

- ・ 猪苗代湖から阿武隈高地に至る豊かな自然と調和した、都市機能・生活機能の整備充実を図り、健やかで快適な暮らしの実現や、地域に根ざした歴史・文化を生かした個性的で魅力ある地域づくりを進め、持続可能な都市圏の形成を図る。
- ・ 救急医療や防災対策を支援するとともに、地域の実情に応じた生活基盤の整備を進め住民の安全・安心が確保される交通体系の構築を図る。

環境に配慮しながら社会・経済活動の活力を高める都市圏の形成

- ・ 美しい景観の保全や環境にやさしいライフスタイルへの取組みを促進し、環境負荷の少ない循環型社会の形成を図る。
- ・ 郡山都市圏の圏域拠点である郡山市の中心部への高次都市機能の強化を図るとともに地域拠点への都市機能・交通機能の強化及び周辺地域の生活機能の維持・充実を進め、相互の機能分担と連携を図る。
- ・ 産学官民の連携・交流等による新しい産業や技術の創出を促進し、本県の産業・経済を先導する拠点地域の形成を図る。
- ・ 都市圏の将来像を見据え、土地利用等と一体となった交通体系を構築し、地域の実情に則した過度に自動車に依存しない公共交通の充実や住みやすく、持続可能な歩いて暮らせるコンパクトなまちの形成を図る。

広域交通ネットワークを有する郡山都市圏の特性を生かした交流が 盛んな都市圏の形成

- ・ 福島空港、東北新幹線、高速道路及び国道バイパス等の交通基盤を有する優位性を最大限に生かし、広域的な交流拠点としての交通アクセス機能と交通結節機能の充実強化を図る。
- ・ 地域内を有機的に結ぶ交通網等の整備を進め、交通混雑解消や交通ネットワーク機能の向上に向けた、ハード面・ソフト面の整備を図る。
- ・ 都市圏の住民が豊かな自然と都市的サービスを併せて享受でき、多様な連携・交流を展開できるネットワーク型都市圏の形成を図る。

(3) 郡山都市圏の形成方針

郡山都市圏の形成方針は、現況の都市圏構造（市町村間のつながり）や郡山都市圏の理念をふまえ、以下の点に留意して検討した。

これらの考え方にに基づき、郡山都市圏の形成方針を、圏域レベル毎に以下のように設定した。

広域：圏域内外の交流活性化を目指した広域交通体系の形成

- ・広域交通基盤の優位性を最大限に生かし、地域内外の交流を促進する広域交通体系の形成

骨格：交通利便性の向上を目指した幹線交通軸上に拠点配置した骨格の形成

- ・鉄道・バス・幹線道路等の交通基盤を基本とした幹線軸の設定を行い、軸線上にブロック中心拠点を配置する都市圏骨格の形成

地域：日常生活機能の維持を目指した地域ブロックの形成

- ・これまで整備された都市機能の有効活用を図り、日常生活機能の充足を目指した地域ブロックによる都市圏の形成

地区：賑わいと活力の創出を目指したコミュニティが連続した地区の形成

- ・コミュニティが成立する圏域を基本とした一定規模での都市集積を図り、それらの連続・集合による都市圏形成